



青い風

小平市立小平第九小学校
コミュニティスクール (CS)
令和8年度 4月号

「一人一人を大切にし、みんなの笑顔が輝く学校」

校長 米持 淳一



桜吹雪の中、令和8年度がスタートしました。お子様の進級・入学、おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、本校は今年度も「一人一人を大切にし、みんなの笑顔が輝く学校」を目指して、教育活動を進めてまいります。年度の始めにあたり、この目指す学校像について、少しお話をさせていただきます。

まず、「笑顔」についてです。小学校で学習したことを、大人になっても詳細に覚えている人は、おそらく少数派でしょう。しかし、「運動会が楽しかった」「友達とけんかしてしかられた」などという感情の記憶は、大人になってもずっと残ることが多いものです。小学校での学び

が「楽しかった」と感じた人は、その後も学ぶことに対して肯定的な思いをもつ可能性が高いと考えます。「楽しい」「分かった」「もっとやってみたい」などプラスの感情をもちながら、学び、身につけた力は、間違いなくその後の礎となります。これが、生涯学び続けようとする意欲の元となり、自ら未来を切り拓いていく力にもつながるのです。

その人がプラスの感情でいるということが、他者から見ても分かることがあります。その表れの一つが、笑顔です。笑顔と言っても様々な笑顔があります。本校が目指す笑顔のイメージは、「安心できる場で、様々な立場の人と関わりながら、学び成長することを楽しむ。」このような姿です。学校経営方針には、目指すべき姿として、「安心の笑顔」「わかった、できたの笑顔」「かかわりの笑顔」「達成感の笑顔」などを記しました。教職員一同、こどもたちのこのような笑顔が輝くことを目指して、取組を重ねてまいります。

また、「みんな」は、児童だけでなく、教職員・保護者・地域の方々・学校をとりまくすべての人々を指します。それぞれが、受け身で笑顔にしてもらうのを待つのではなく、誰かを笑顔にしたいと思いながら、ともに主体的に行動していくことを目指しています。

このような笑顔に結びつけるために、「一人一人を大切に」した教育活動を進めます。特別活動（学級での話し合いや、委員会活動、クラブ活動、学校行事など）や道徳、生活科や総合的な学習の時間などの学習を中心として、自分や相手を認め、自分のことも相手のことも大切にできるこどもたちを育てていきます。

教育活動は、学校だけで進めていくことはできません。保護者・地域の皆様のご理解とご協力が欠かせません。小平九小の410人のこどもたちの笑顔のために、そしてこどもたちを支えるすべての大人たちの笑顔のために、みんなで力を合わせていきたいと考えております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクール(CS)について

本校はコミュニティ・スクール (CS) です。コミュニティ・スクールは、地域・保護者の皆様が、学校運営や学校の課題に対して広く参画できる仕組みです。月に1回程度の協議会を開催し、地域や保護者の皆様を代表する委員の方々に参加していただき、話し合いを行っております。今後の活動の様子などについては、この学校だより等を用いてお知らせをしております。どうぞよろしくお願いいたします。

4月の生活目標

きまりをしっかりと守ろう